

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年4月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670500224
法人名	医療法人 芳清会
事業所名	グループホーム さくらの丘
所在地	鹿児島県いちき串木野市生福8974番地 (電話) 0996-21-2777
自己評価作成日	平成27年3月11日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・母体病院からの24時間医療連携体制、毎日の看護師訪問による健康管理
- ・母体病院からの管理栄養士による献立
- ・感染症予防のため、1日3回の消毒(手すり、扉等の手の触れる箇所等)
- ・衛生面にて、入浴は一人ひとり掃除、お湯入替
- ・空気清浄機、加湿器完備 (共有フロア)
- ・年6回以上の行事

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは母体医療機関と24時間医療連携体制が整っており、看取り経験も多い。
- ・共用空間には坪庭があり和室には掘りコタツを備え、雛人形が飾られるなど、和の雰囲気を醸し出している。
- ・感染症対策及び衛生管理が徹底され、ウイルス感知までの空気清浄機も設置されている。
- ・防災対策として自動火災通報装置感知器連動装置を設置している。地域の特性として川内原発事故を想定しての対応についても話し合っている。
- ・親睦目的で法人職員全員参加の新年会や忘年会などがあり、意見交換がなされている。
- ・職員間の連携が密で、職員はいつも利用者と笑顔で接し、安心して生活している。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を朝礼で唱和し確認 日々実践に努めている	理念は毎日朝礼で唱和を行い意識付けをして実践に繋がっている。年頭には、年間の自己目標等を設定し振り返りを行い、質の向上に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見、敬老会の行事等に参加 芝桜見学、みかん狩り等で近隣地域でも、交流に努めている	町内会に加入し、小・中学校や地域の情報等を得て、地域と繋がっている。地域の花見や敬老会に参加したり、保育園の慰問等も定期的に行われている。地域住民の支援を得て、全員参加のみかん狩りに行くなど交流を図っている。散歩時の挨拶や旬の野菜など差入れもあり、日常的に地域との交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	四季便りに、できるだけ沢山の写真を貼付け、行事案内などを回覧板にてお知らせ。気軽に参加して頂けるように心がけている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	公民館長、民生委員、地域包括支援センター、家族代表に行事に参加していただき情報開示現状を説明し意見等をもっている。改善点等のコメントがあれば次回に活かせるように努めている	会議はホームの行事と同日に実施し、議題を設け開催している。ホームの現状や活動内容・課題等を報告し、意見交換をしている。川内原発事故を想定しての対応についても話し合っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃から疑問、相談等、連絡をしアドバイスを受けている	市担当者とは、介護保険や書類等の申請時に直接出向きアドバイスを得る等、協力関係を築いている。地域包括支援センターにはケア相談や情報提供を得ている。市の研修にも参加している。介護相談員の受け入れもしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	マニュアル等の確認を行いながら情報共有、意見交換を行っている。玄関施錠は、昼間は常に開放、夜間はスタッフが少人数になり安全と外部からの危険防止のため施錠を行っている	身体拘束廃止委員会があり、接遇や言葉かけに付いて内部研修を行い全員が身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。日中、玄関の施錠はせずに職員間の連携で支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料等により知識を得ながら常時スタッフ間で話し合い検討している。虐待等が見過ごされることがないように十分に注意を払っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在対象者はいない 研修会資料等配布にて再確認は行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入退居時に契約書に伴い例え、補足を付加えながら説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者、家族から希望等申送りノート、会議、行事カンファレンス等を通じて常に検討している	利用者には日々のケアの中で思いを聞いている。家族からは家族会議や運営推進会議・面会・行事参加時等に希望や要望などの意見を聞いている。遠方の家族には月1回の個人便りや年4回のさくらの丘便りを郵送し意見を言える機会を設けている。要望を受け、感染症発生時の面会制限や解除など、運営に反映させている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回のユニット会議及び全体会議にて意見、提案等を挙げ議論している	毎月1回のユニット会議と理事長参加の全体会議で意見や提案など聞く機会を設けている。年1回、個人面談を実施している。提案事項のハード面や物品要求など、ケアや職場環境改善に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	適材適所を考え、個人の評価、意見を聞きながら行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人外研修の日程を前もって通達、掲示し出席を促している 法人内にて勉強会も行い質の向上に努めている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流、勉強会研修会などを通して行っている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	会話の機会を多く持ち安心して生活できるような関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に会話の機会を持ちスタッフから声をかけ質問を行いながら気軽に相談できるような関係作りに努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、家族が優先的にどのような支援が必要か話し合い希望に沿えるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活スタイルを尊重し可能な範囲で共同生活の関係性に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の便りで状態、様子、受診報告。面会時には声をかけて相談等を行なっている また特変時は、その都度電話連絡を行なっている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出泊は自由なので、面会時等、お茶等を提供し好きな場所で過ごしてもらえるように努めている	近隣住民や友人の面会等があったり、希望に応じて個人や複数で自宅や思い出の場所までドライブ等をしたり、出張美容師の受け入れや馴染みの美容室や墓参りは家族の協力を得ている。馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り共通する話題の会話、レクリエーション等、コミュニケーションがとりやすい環境作りに努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人、家族の希望に応じて継続的に、相談支援に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時、本人、家族から希望、要望を聞いている 困難時は、随時もしくは定期的にカンファレンスを行い、できるだけ本人の意向に沿えるように努めている	入居時に本人及び家族から生活歴等の情報を聞き、日々の関わりでの表情や言動・態度からも随時、意向を確認しながら、ケアに取り組んでいる。意思疎通が難しい場合は家族や職員で話し合い本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、前生活のサマリー等で職員は共有し、後は本人家族からの情報収集に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、基本午前と午後のバイタルチェックや声かけで表情確認等で現状把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活のケアより課題を見出し本人、家族希望・意見を伺い、確認している 随時もしくは定期的に、カンファレンスを行いプランに取り入れている	本人や家族の希望や要望を聞き、カンファレンスで、主治医の意見等を取り入れた介護計画を作成している。3ヶ月毎のモニタリング、主治医の意見を聞き6ヶ月毎に見直しをしている。状況変化時はその都度対応している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別健康状態、ケアプランに添った記録に努めている。また状態変化に応じてキーワードを活用しながらの記録で情報の共有に努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時の状況に応じて判断し可能な限り対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散髪は地域出張を利用し地域敬老会、みかん狩り、外食等を行い、地域との関わりを大切にし、楽しみが持てるように努めている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の希望通りに行っている	本人・家族の希望でかかりつけ医を決めており、受診は家族に同行依頼し報告を受けている。困難時は職員が同行し家族へ報告をしている。24時間医療連携体制で、看護師が訪問し夜間の状況を聞き適切な医療が受けられるよう支援している。2週間に1回往診もある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日、母体病院より医療連携体制にて正看護師訪問し健康管理を行っている 情報共有のため送りノートを中心に情報交換を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供書を作成 また、面会時は情報交換を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期の段階で本人と家族の意向を話し合い、できるだけ希望に沿えるように主治医と相談しながら取り組んでいる	入所時に本人や家族に重度化や終末期に向けた方針を説明し同意を得ている。看取りに関する指針もある。状況変化に伴い主治医から家族へ説明を行い、相談しながら取り組んでいる。家族の協力を得て看取りケアを行っている。職員は医師から看取りについての勉強会を実施し、メンタルヘルスケアにも考慮し取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルにて常時シュミレーション、マニュアル確認を行い状況に応じて母体病院院長に指示指導を受けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛避難訓練を昼夜間わない想定で繰り返しながら確認災害時に備えている 年1回の消防立会の訓練も行いアドバイス等受けている	災害マニュアルを基に消防署指導のもと年1回、自主訓練を昼夜間想定で年4回、実施している。防災・火災連動装置が設置済みである。AEDも設置している。災害用物資も常時、備蓄されている。公民館長への通報連絡による地域との協力体制も築いている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使い、態度に気をつけ利用者個人々に合わせた声かけを心がけている	一人ひとりの生活歴や人格を尊重しながら、言葉使いや声のトーン、態度に留意し対応している。個人情報の取り扱いについてマニュアルがあり、個人のプライバシー保護に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常些細な事でも、本人の希望を尊重し自己決定ができるような声かけに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時には業務を優先しないといけない状況もあるが、できるだけ本人の希望に沿えるように心がけている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	また希望に合わせて理美容室に外出、もしくは出張サービスを利用している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好、状態に応じて食べやすいように工夫している 食材の下ごしらえ等できることはスタッフと一緒にしている	栄養士による献立で調理されている。嗜好を取り入れて、食事形態も考慮しアレルギー対応で代替にも応じている。利用者の身体能力に応じてツワの皮ムキ等の下ごしらえやお盆拭き・下膳など、職員と一緒にしている。ウッドデッキでの昼食会や行事食及び外食等、食べる楽しみを工夫して取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士よりカロリー計算された献立で個人の食事摂取量チェック表を活用し把握に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアのできる方は声かけ、できない方は介助を毎食後行いスポンジブラシも使用している 夕食後は入れ歯洗浄剤にて清潔を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの残存機能を確認、把握を行い排泄チェック表を活用しながら定期的に声かけ、介助をを行っている できるだけトイレでの排泄リズムの支援を行なっている	日中は排泄チェック表に基づいて個々の状態に応じ声かけしてトイレでの排泄を支援している。リハビリパンツやポータブルトイレを使用し排泄の自立をしている。夜間の排泄支援は身体レベルに応じて、本人希望で支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を活用し、水分補給、腹部マッサージ等行っている 状態により主治医に相談し内服にて調整している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	できるだけ、希望に沿えるように取り組んでいる 曜日、時間変更等の希望がある場合はできるだけ希望に沿えるように努めている 状態に応じて清拭等も行っている	入浴は基本は週3回であるが、曜日や時間帯など希望に応じて午前・午後を問わず支援している。同性介助を行っており、湯はその都度、新しい湯で入浴支援をしている。希望に応じて入浴剤の使用もしている。現在、入浴拒否の利用者はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れない利用者は寄添い、傾聴し安心して眠れるように努めている。または主治医に相談し内服等にて対応している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬説明書を個人々ファイルに添付し、いつでも確認できるようにしてあり把握に努めている		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活意欲向上に繋がるように、できることはお願いしている。季節を感じてもらえるような行事計画に努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外出泊は基本的に自由である。正月、お盆等は本人希望、家族と相談し支援している	日常的には個々の希望を確認しながら、近隣の散歩や買い物に出かけている。地域行事の花見や敬老会への参加、ホーム行事の花見や外食・ドライブ・みかん狩り・初詣等に出かけている。家族の協力を得ながら墓参りや外泊など、戸外に出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの利用者が金銭管理ができないため家族の了解を得て、預かり金として事務所金庫にて預かっている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代筆（読）、電話使用は自由で希望時に支援している		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには室温時計にて空気清浄機、加湿器の調整を行い気持ちよく過ごせる様に心がけている 利用者の作品、季節の花々を飾り、居心地よく過ごせるような工夫に努めている	フロアは天井が高く採光もよく明るい。空気清浄機や加湿器・室温計があり、清潔で気持ちよく過ごせる空間となっている。坪庭があり和室には掘りコタツを備え、雛人形が飾られるなど、和の雰囲気を出している。利用者の作品等も掲示され、快適な環境で生活できるように工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	坪庭前に対面ソファを配置。利用者同士（家族）が談話等、ゆっくり過ごしてもらえるように努めている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	電化製品、家具など使い慣れた品物を持ち込んでもらっている	各居室は冷暖房完備でベット・洗面台が設置してある。使い慣れた家具やテレビ、大切な思い出の写真など持ち込み、その人らしい居室となっている。居室からも季節の花などが見渡せ居心地よく過ごせる環境となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に合わせ障害にならないように、スタッフ家族と相談検討し環境作りに努めている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない